

しいたけ生産者と県が意見交換会



（写真は左から坂口常博さん、河上勝夫さん、中川浩樹部会長、福山雅夫副部会長）



（写真は左から、農林水産部スマート林業課 洲恵課長補佐、勝野副知事、小杉課長）

3月1日、本所に勝野美江徳島県副知事、農林水産部スマート林業課担当者が訪れ、松田清見組合長、しいたけ統一部会役員等と意見交換会が行われました。これは、1月初旬にJA役員が勝野副知事に面会し、しいたけのセーフティネットの充実等の要望を行い、開催されました。

部会は、生産に必要な資材費、電気料金等の経費が高騰し、経営を逼迫していることから、支援措置を求める要望活動を行っています。

県に対し、中川浩樹部会長から、しいたけ生産者は施設園芸等燃油高騰対策事業等において、キノコ類が対象にならず支援措置が少ないことや、現状では、今後の生産維持が困難な中、廃業する生産者の増加が懸念されている状況の説明がありました。

県からは、しいたけ生産者が活用可能な

セーフティネットの支援制度や、林野

府の補正事業を活用した、空調・換気設備、ヒートポンプ、熱交換器等の設備等を支援する「省エネルギー化施設等整備支援」や、生産資材の価格上昇額を支援する「生産資材価格高騰支援」について説明がありました。JAは、すでに申請済みとの回答をしました。

また、勝野副知事からは、「日本一の生産量を誇る徳島県のしいたけを、次世代を担う子どもたちへ農業や地産地消の理解を深めてもらうために食育への活用の勧めや、活動費用の助成事業の利用の提案等がありました。生産者からは、「今後も様々な支援事業を活用しながら、しいたけ生産を持続可能な形に変革できれば」との声もありました。農林水産部スマート林業課担当者は、「現状の把握ができた。引き続き、生産現場の現況について聞き取り調査を行いながら、支援策等を検討していきたい」と話しました。

セーフティネットの支援制度や、林野府の補正事業を活用した、空調・換気設備、ヒートポンプ、熱交換器等の設備等を支援する「省エネルギー化施設等整備支援」や、生産資材の価格上昇額を支援する「生産資材価格高騰支援」について説明がありました。JAは、すでに申請済みとの回答をしました。また、勝野副知事からは、「日本一の生産量を誇る徳島県のしいたけを、次世代を担う子どもたちへ農業や地産地消の理解を深めてもらうために食育への活用の勧めや、活動費用の助成事業の利用の提案等がありました。生産者からは、「今後も様々な支援事業を活用しながら、しいたけ生産を持続可能な形に変革できれば」との声もありました。農林水産部スマート林業課担当者は、「現状の把握ができた。引き続き、生産現場の現況について聞き取り調査を行いながら、支援策等を検討していきたい」と話しました。



（写真は右から、農林水産部スマート林業課 洲恵課長補佐、勝野副知事、小杉課長）

春にんじん シーズン到来

肥料価格高騰対策事業（春肥）について

肥料価格の高騰による農業経営への影響緩和のため、化学肥料低減に向けて取り組む農業者の肥料費が国および県より支援されます。

～春肥の申請について～

○価格高騰率：1.4

○対象肥料：令和4年11月～令和5年5月注文分

※但し、上記期間に注文した肥料については、令和5年春肥として確実に購入し、自らの農業生産に使用するもの。

○申請受付期間：令和5年6月～を予定

※当JAでの申請受付期間については、正式に決定次第、追ってご連絡致します。

トピックス

JA 徳島市管内の
情報を届け



ゆめタウン徳島で「甘姫」をPR



第21回ゴルフメイトを開催



3月14日、サンピアゴルフクラブ（徳島市入田町）で第21回ゴルフメイトを開催し、組合員の方々やJA職員ら48人が参加しました。

このゴルフ大会は、会員定期積立金をしている顧客の方々が中心となり、ゴルフを通じて会員同士の親睦を深めてもらおうと、毎年春秋に開催されており、毎回、熱戦が繰り広げられています。今回、見事優勝に輝いたのは、新見栄嗣さんでした。

参加者は「毎年楽しみにしている恒例のコンペ。秋の大会も頑張りたい。」と話しました。



NEW!

ブロッコリー出荷ピークに対応 荷受けフル稼働

北部営農経済センターでは、3月上旬から中旬のブロッコリーの出荷のピークに対応し、荷受け検査・氷詰め作業を通常の週5日から週7日に増やして実施しました。

3月中旬は、日量平均約6,000鉢（平均の約1.5倍）を集荷しました。今後、5月中旬の最終出荷ピーク時にも同様の荷受けを実施する予定です。これは、3月初旬から気温が急上昇し、急激な成長促進による採り遅れを防ぐためであり、さらに管内の生産者の作業性の平準化と品質の安定の維持ができました。

部会では、今年度185軒で355鉢を栽培しており、3月17日時点での総出荷量（同日比）は2,578鉢（前年比91鉢）で、特に今年は平均単価が高く推移しており、1鉢（6鉢）2,007円（3カ年平均112鉢）と好調です。



アグリサポートセンター水稻 精播き作業 順調



北部営農経済センター アグリサポート課では、3月中旬から、水稻苗の育苗箱への種まき作業を行っています。育苗箱は加温室で2日間、室温29.5度に保ち、その後育苗ハウスで管理します。種まき作業は5月中旬まで随時行われます。今年は約9万2,900枚の予約注文がありました。全体のうち「コシヒカリ」の発注枚数が約6割強を占め、残りは「あきさかり」です。苗の初出荷は4月12日を予定しています。



3月9日、多家良いちご部会の若手生産者が、また卒業を迎える徳島市立宮井小学校の6年生の児童19名に、いちごを贈呈しました。

「いちごの妖精」に扮した、部員の木下麻衣さん、新居延智香子さんが、6年生の教室をサプライズで訪れ、卒業を祝福し、生徒一人一人に、さちのか1パックずつを手渡しました。

木下さんたちの演出に、生徒たちは、驚きながらも満面の笑みでいちごを受け取り、味わいました。

木下さんは、「中学校に行つても頑張りすぎずに、学校生活を楽しんでください。」と児童に向けて言葉を贈り、新居延さんは、「いつか将来、今日食べたいちごの味を思い出して、食べたくなったらいつでも、ふるさとに帰って来てください。」と伝えました。

3月18日、川内甘藷部会の伊勢直樹部会長、加根敏之さん、片山直道さん、東部営農経済センター佐藤徹也職員は、徳島青果株式会社担当者とゆめタウン徳島で、なると金時「甘姫」のPRのために試食宣伝販売を行いました。たくさんの買い物客に焼きいもを試食いただき、売れ行きは好調でした。



青壯年部 × JA役員懇談会を開催

3月14日、本所にて令和4年度、青壮年部はJA役員との懇談会を開催しました。15の質問事項について、各担当者より

回答がありました。中でも、農産物の販売額についてや、生産資材、肥料、輸送費等のコストアップに対する農産物価格への価格転嫁について、市場への交渉、市場以外への流通の充実化など、複数質問がありました。

質問に対し、営農経済部 井河勝淑部長は「常に取引先、市場には農産物の積立方式による価格形成の要請を強く重ねて参りました。しかしながら、流通の小売店での費用高騰に吸収され、産地までは価格転嫁が反映されにくいのが現状です。

その現状を受け、産地側では、品目ごとにそれぞれの取り組みを行っており、一例として、包装資材の見直しにより、簡易

包装化によって費用の削減を実現しました。価格補填については、収入保険での対応やＪＡ出荷者は価格安定金での対応を考えております。しいたけにおいては、徳島市・佐那河内村に物価高騰対策の嘆願も行いました。これらの取り組みについては「広報誌ひざん」にて掲載されておりますので、ご覧ください。と回答しました。その他質問は、耕作放棄地・農業機械・野菜の加工・荷受け検査員の体制・納税支援について等、多岐に渡り、それぞれについてＪＡからの回答が行われ、その後、意見交換が行なわれました。



渭東事務所青ネギに関する農薬等 講習会開催

3月13日、渭東青ネギ部会は、渭東事務所1階会議室にて令和5年産青ネギに関する農薬等についての講習会を開催しま

した。最初に平川文男技術主管より、渭東ねぎ農薬基準表についての説明があり、次に徳島農業支援センター担当者から、ネギアザミウマの薬剤感受性検定について報告がありました。昨年12月上旬に行われた試験で21種類の薬剤で使用した試験の結果、高い殺虫効果を示したものは、グレーシア乳剤・モスピラン水溶剤・ディアナSC・アニキ乳剤・ブレオフロアブルとのことでした。その他、サンケイ化学株式会社・OATアグリオ株式会社・日本化薬株式会社の各担当者より、農薬・肥料の紹介、説明がありました。



総合企画部	
上原 秀悟	部長兼総合企画課長事務取扱 (総合企画部 次長兼総合企画課長 事務取扱)
小野 真也	課長代理(総合企画部 係長)
佐々木 文二	室長 (眉山支所 支所長兼農経済課長 事務取扱)
福井 健太郎	金農駐在(北部農経済センター)
尾形 大輔	(八万支所)
審査室	
監査室	
金融共済部	
武市 英司	部長兼資金運用課長事務取扱 (金融共済部 部長)
折野 雅幸	営農経済課 常業支援課長兼共済事務課長事務 取扱(応付事務所 事務所長)
竹内 裕子	課長代理(八万支所 課長代理)
河野 勝重	係長(徳島支所 係長) (八万支所)
中谷 直樹	
川瀬 美幸	
井上 翼	
坂東 淩紀	
大森 加奈子	
渡邊 圭	(眉山支所)
坂尾 幸祐	(国府支所)
加茂名支所	
田中 浩徳	支所長兼農経済課長事務取扱 (総合企画部 部長)
武市 直彦	金融共済課長(多家良支所 課長 代理)
高田 凌	(八万支所)
三宅 美穂	(国府支所)
佐那河内支所	
樋口 貴文	支所長「次長職位」兼管農経済 課長事務取扱(勝占事務所 事務 所長)
前田 友香	課長代理(佐那河内支所 係長)
安藝 裕子	係長(眉山支所 係長)

國府支所	岡島 英則 安永 真琴 井藤 裕幸 岡津 味歩 山本 由香里 遠藤 奈央	次長兼金融共済課長事務取扱 （八万支所 次長兼融資課長事務取扱） 課長代理（金融共済部 課長代理） 課長代理（加茂名支所 課長代理） （加茂名支所） (佐那河内支所)
川内支所	武市 一孝 中川 幸子 東塚 晴美 榎本 麻友子 徳島支所	金融共済課長（不動事務所事務所長 兼北部當農経済センター物流課長事務 取扱） 課長代理（国府支所 課長代理） 課長代理（徳島支所 課長代理） (徳島支所) 多家良支所
吉田 慎一 近藤 直樹 井上 真五 藤川 真澄	相原 慎太郎 浦屋 宏美 麻植 真奈美 井上 真也 庄野 和也 三木 将志 高木 智美 井原 秀彰 南條 桂史朗	支所長（八万支所 支所長） 課長代理（眉山支所 係長） 係長（多家良支所） （東部當農経済センター長 セントラル） 當農課長（北部當農経済センター 課長 代理） 經濟課長（南井上事務所事務所長） 課長代理（北部當農経済センター 係長） （南部當農経済センター） （南部當農経済センター）
北部當農経済センター	吉田 慎一 近藤 直樹 井上 真五 藤川 真澄	（東部當農経済センター長 セントラル） 當農課長（金融共済課長（金融共済部 資金運用 課長兼共済推進事務課長事務取扱） （佐那河内支所 支所長 常勤） 當農課長（北井上事務所 事務所長） 當農課長（南部當農経済センター 常農 課長兼中央集出荷場課長事務取扱） （八万支所） （佐那河内支所）
南部當農経済センター	吉岡 真由子 黒田 卓也 品山 貴則 阿部 哲也 吉岡 真由子	當農経済センター長 （佐那河内支所 支所長 常勤） 當農課長（北井上事務所 事務所長） 當農課長（南部當農経済センター 常農 課長兼中央集出荷場課長事務取扱） （八万支所） （佐那河内支所）



新入職員

令和5年度に入組する9名です
（）内は配属先です。

・特技】野球観戦・料理
粘り強く諦めの悪い性格です。多少、人見知りするかもしけれませんが長く頑張ります。

特技】バスケ・ボウリング・ドライブ
コツコツと努力し、頼られる職員になら
ようになら一生懸命頑張ります。

頑張りますので、よろしくお願ひ致し
りえ
里恵（八万支所）
・特技 カラエめぐり
皆様のお役に立てるより、精一杯頑
ますますのよろしくお願ひ致します。

紀（川内支所）
・特技】 フラフープ

（當農經濟部）涉
特技】 読書・格闘技
早く一人前になれるよう頑張ります
これからよろしくお願ひ致します。

- ・特技】スマホゲーム・阿波踊り
公私共に誰からも求められる人になれ
よう、頑張ります。

早く仕事に慣れるよう頑張ります。
これからよろしくお願ひ致します。

みなさん、こんにちは。徳島往診クリニックの吉田です。今回は血液の作られ方=造血作用と各血球の機能についてお話しします。

造血は受精卵の時期から始まり、これを一次造血といいます。その後出生前後には、胎児の肝臓から骨髄に造血の場は移動します。これを二次造血と称しますが、それを担う造血幹細胞は出生後一生造血を担うこととなります。造血幹細胞は全ての血球に分化することができる多分化能と自らを複製できる自己複製能を持っています。自己複製ができるからこそ造血幹細胞は枯渇することなく生涯働き続けることができます。造血幹細胞は大人になると骨髄中に存在し数十日に1回分裂しながら、各種血球細胞を作り出しています。ただし全ての造血幹細胞が常に分裂・分化しているのではなく、炎症や骨髄抑制状態など血球需要が増した時のみ分裂して、平時は休眠状態のものもあります。

造血幹細胞は、多能性前駆細胞を経て共通骨髄系前駆細胞と共通リンパ系前駆細胞へと分化します。以下の分化を簡略化して系統図で示します。

1. 共通骨髄系前駆細胞 →顆粒球・単球前駆細胞→好中球・単球等
2. " →巨核球・赤芽球前駆細胞→赤血球や血小板
3. 共通リンパ系前駆細胞→T細胞系・B細胞系前駆細胞→T細胞やB細胞

上記のように造血幹細胞から分化した血球ですが、各々に独自の機能が備わっています。白血球の主な機能は感染から身を守ることです。微生物の侵入や細胞障害に反応して発動

する自然免疫と抗原（細菌やウイルス等）に特異的に応答して長期的に記憶される獲得免疫がありますが、前者には好中球や単球等が、後者にはT細胞やB細胞等が関わっています。好中球は体内に侵入した微生物に対して、活性素子や顆粒内成分を用いて殺菌します。また細胞外にネット状のDNAを放出し細菌を補足します。単球は組織でマクロファージに分化し微生物を貪食したり、インターロイキン等を産生して炎症反応を惹起します。樹状細胞は、抗原を取り込むと種々のサイトカインを分泌し、T細胞をヘルパーT細胞や細胞障害性T細胞へと分化させます。ヘルパーT細胞はB細胞やマクロファージなどの自然免疫細胞を活性化させ、B細胞はIgM等の抗体を産生します。細胞障害性T細胞は細胞障害性顆粒の分泌を介して、ウイルス感染細胞やがん細胞をやっつけます。また近年抗原と関係のないNK細胞といったものが発見され、ウイルス感染や一部の細菌感染症・真菌感染症の防御に関わっていることが判りました。白血球の寿命は、数時間から数日と短命です。

赤血球の主な機能は酸素の運搬ですが、そのため細胞内にはほぼその担体であるヘモグロビンで占められています。赤血球の寿命は約120日とされ、老化すると脾臓で破壊されます。

血小板は止血に重要な役割を果たしています。平時は血管内皮細胞の働きで血小板機能を抑制して血管が詰まらないようにしていますが、血管内皮が一旦傷害されると血小板はそこに凝集して止血作用を発揮します。血小板の寿命は、約10日間とされています。

農地・経営など地区相談を実施します

農業に関する悩みや疑問などについて、農業委員や農地利用最適化推進委員、事務局職員が各地区に出向き、情報提供やアドバイスを行います。

ご相談は無料、予約不要ですので、お気軽にお越しください。

日時・場所 >

実施日	地区・時間・場所			
	9:30～10:30	11:00～12:00	13:30～14:30	15:00～16:00
6月5日(月)	多家良地区 (JA多家良支所)	勝占地区 (JA勝占事務所)	八万地区 (JA八万支所)	渭東地区 (JA渭東事務所)
6月6日(火)		加茂地区 (JA徳島支所)	上八万地区 (JA眉山支所)	入田地区 (入田コミセン)
6月7日(水)	川内地区 (JA川内支所)	応神地区 (JA応神事務所)	不動地区 (北部農業経済センター)	
6月8日(木)	国府地区 (JA国府支所)	南井上地区 (JA南井上事務所)	北井上地区 (JA北井上事務所)	

対象者 >

実施地区に居住する農業者

実施地区で新たに農地を利用したい農業者

主な相談内容 >

- ・農地の売買・貸し借り
- ・農地の転用
- ・遊休農地の活用
- ・農業者年金など

徳島市農業委員会事務局（☎088-621-5394）まで

通常通り開催いたしますが新型コロナウイルスの感染状況によりましては開催できない場合もございます。

- 日時 第3土曜日 9:00～12:00
金融共済部へ事前に予約が必要
申込先 ☎ 088-622-8003
場所 本所1階金融相談室

下記の通り開催予定ですが、新型コロナウイルスの感染状況によりましては、開催できない場合がございます。

- 日時 5月9日(火)、16日(火)、30日(火)
9:30～15:00
申込先 総務部へ事前に予約が必要
☎ 088-622-6335
場所 本所1階金融相談室

理事会だより（令和5年3月27日）

協議事項

- (1) 第7次中期経営計画について【総代会提出議案】(可決)
- (2) 第55年度事業計画について【総代会提出議案】(可決)
- (3) 施設整備積立金規程の一部変更について【総代会提出議案】(可決)
- (4) 経営安定対策積立金規程の一部変更について【総代会提出議案】(可決)
- (5) 旧井戸集荷場の売却について(可決)
- (6) 令和5年度内部監査計画について(可決)
- (7) 規程類管理規程の一部変更について(可決)
- (8) 総代選挙管理者等名簿の変更について(可決)
- (9) 余裕金運用規程の一部変更について(可決)
- (10) 令和5年度の余裕金運用について(可決)
- (11) JAバンク徳島経営戦略シートについて(可決)
- (12) 組合と理事の利益相反取引について(可決)
- (13) 出資口数の一部減口について(可決)
- (14) その他

報告事項

- (1) 旧井戸集荷場売却に係る入札結果について
- (2) 旧中部出張所の売却について
- (3) 令和5年度監事監査計画について
- (4) 令和4年度末監事監査日程について
- (5) 令和4年度みのり監査法人による期中監査Ⅱ実施結果概要について
- (6) 債権回収について
- (7) 規程類の変更について
- (8) 理事会決議事項処理状況報告について
- (9) 眉山西部集出荷場の運営の変更について
- (10) 令和4年度みのり監査法人による期中監査Ⅲの実施について
- (11) その他

